

平成 18 年度臨時（第 2 回）理事会議事録

日 時： 平成 18 年 7 月 16 日（日） 10：30～12：30

場 所： 夢の島マリーナ 2 階会議室

出席理事：（敬称略、順不同）

山崎達光、戸田邦司、河野博文、昇隆夫、前田彰一、井手正敬（委任：山崎達光）、青山篤（委任：河野博文）、安藤淳、石橋國雄、大庭秀夫（委任：昇隆夫）、小池祐司（委任：山崎達光）、中野佐多子、前田多満枝、棚橋善克（委任：山崎達光）、野口隆司、伊藤宏、篠田陽史、河内道夫（委任：河野博文）、大門功、宮崎史康（委任：昇隆夫）、猪上忠彦（委任：河野博文）、馬場正彦、外山昌一（委任：山崎達光）、西田昭二（委任：前田彰一）、名方俊介

以上 25 名、内委任状 10 名

出席監事：一條實昭、貝道和昭

以上 2 名

欠席理事：稲葉文則、吉田豊

以上 2 名

欠席監事：高田尚之

以上 1 名

オブザーバー：中山明参与・総務委員長、穂積八洲雄、秋山雄治

議事の経過及び結果

（定足数の確認）

理事 27 名、出席者 25 名（内、委任状 10 名）により、寄附行為第 29 条に基づく定足数を充足しており、本理事会は成立した。

（議長による開会宣言）

寄附行為第 19 条に基づいて、山崎達光会長が議長となり、平成 18 年度臨時（第 2 回）理事会の開会を宣言し、議事進行を昇隆夫専務理事に委任した。

（議事録署名人）

本理事会の議事録署名人としては、議長指名により前田多満枝、野口隆司の両理事が任命された。

（山崎会長挨拶）

山崎会長より、臨時理事会の開催目的と主な活動進捗状況並びにこれからの展開についての報告があった。また、その他重要な議題につき協議をお願いしたいとの挨拶があった。

<協議事項>

1) 平成 19 年・20 年度役員選出について

中山総務委員長より資料に基づき、平成 19 年・20 年度役員選出について説明があった。

本日協議された意見を盛り込み次回の理事会で審議することとなった。

2) 平成 19 年度水域構成団体の検討について

中山総務委員長より資料に基づき、水域構成団体に関する件について説明があった。
野口理事より、理事選出基準の検討（外洋系水域選出理事の水域基準の見直し
選挙理事の対比）についての意見が出された。

< 特別事項 >

2016 年オリンピック招致について

(1) 現地視察報告

武村事務局長と穂積八洲雄氏より、資料に基づき東京都会場の江ノ島（相模湾）と
福岡県会場の小戸（博多湾）について、事実と感想を述べますので推察していただき
たいとの現地調査報告があった。

(2) 東京都プレゼンテーション

昇専務理事より、東京都ヨット連盟より提出された欠席事由説明文書が読み上げら
れた。

(3) 福岡県プレゼンテーション

福岡県を代表し福岡県セーリング連盟の秋山雄治氏が福岡・九州オリンピック招致
実行委員会の PR 用の DVD を始め、資料に基づき福岡セーリング競技会場の特徴につ
いての説明があった。

(4) 投票手続きの方法説明

武村事務局長より、出席理事に配布された投票関係書類の説明がされた。

< 報告事項 >

1) 懲戒規程について

中山総務委員長より、資料に基づき説明があり、一條監事より指導のあった第 3 条
の 5 項について、一部文言を明確に修正することで了解された。

2) 国体委員会報告について

昇国体委員長より、第 62 回秋田国体（男鹿市）リハーサル大会と第 61 回兵庫国体
（西宮市）の中央派遣役員推薦者についてと日本体育協会よりアンチドーピングにつ
いての指導状況についての報告があった。

3) 6 月末予算管理月報について

安藤会計担当理事より、本年度 6 月 30 日までの一般会計・オリ強化特会計・免税募
金特会計について、資料に基づき報告があった。

4) 平成 18 年度共同主催・公認・後援願いについて

名方レース統括委員長より、次の公認 16 件が申請承認されたことの報告があった。
「第 32 回全日本シーホッパー級選手権大会」「2006 年度全日本学生ヨット選手権大会」
「第 71 回全日本学生ヨット選手権大会」「第 15 回全日本学生女子ヨット選手権大会」
「第 33 回全日本自治体職員ヨット競技大会」「第 4 回全国中学校ヨット選手権大会」

「第 23 回全日本レーザークラス全日本マスターズ選手権大会」「第 26 回全日本トッパ
級選手権大会」「第 59 回全日本スナイプ級ヨット選手権大会」「第 22 回全日本 OP 級
チームレース選手権大会」「第 6 回全日本チームレース選手権大会」「SCIRA 第 9 回全
日本スナイプ級ヨットジュニア選手権大会」「SCIRA 第 41 回全日本スナイプ級ヨット
女子選手権大会」「SCIRA 第 21 回全日本スナイプ級ヨットマスターズ選手権大会」
「2006 年度全日本 FJ 級選手権大会」「第 52 回全日本シーホース級ヨット選手権大会」

5) 平成 18 年度通常(第 1 回)理事会議事録(案)について

武村事務局長より、平成 18 年度通常(第 1 回)理事会議事録(案)につきましては、
山崎議長並びに議事録署名人の大庭秀夫理事と中野佐多子理事から承認をとっている
ことの報告があった。

6) 平成 18 年度第 1 回評議員会議事録(案)について

武村事務局長により、平成 18 年度第 1 回評議員会議事録(案)につきましては、森
議長並びに議事録署名人の朝田耕平評議員と小畑千安紀評議員からの承認をとっている
ことの報告があった。

7) その他

団体正式名称変更のお知らせについて

中山総務委員長より、「日本セーリング連盟外洋湘南」あるいは通称「JSAF 外洋
湘南」と呼称しておりましたが、平成 18 年 6 月 1 日に規約を改定し、正式名称を
「外洋湘南」と変更したことの報告があった。

休眠団体について

昇専務理事より、「日本 B14 クラス協会」が暫く活動を休眠することの届けを受
取った旨報告があった。

加盟団体外洋三浦会長変更について

昇専務理事より、加盟団体外洋三浦会長が、前会長外山昌一氏任期満了により、後
任として児玉萬平氏が就任することとなった旨、報告があった。

国体功労者推薦について

中山総務委員長より、国民体育大会功労者特別表彰対象者として、表彰基準に基づ
き、連盟理事の西田昭二氏を日本体育協会に推薦することの報告があった。

ナショナルトレーニングセンターについて

河野副会長より、ナショナルトレーニングセンターの特別スポーツ種目における今
後の進捗計画状況について報告があった。

アジア大会について

河野副会長より、選手団・組織などについて山崎会長に一任することの報告があ
った。

自動体外式除細動装置(AED)について

野口理事より、資料に基づき自動体外式除細動装置(AED)についてのご提案があ

った。

セーラーズパーティの報告

河野副会長より、第1回目として次に繋がる大盛況のもと終了したことの報告があった。

平成18年度臨時(第2回)理事会は、上記の通り議決ならびに承認されたことを確認し、議事録署名人は以下に記名捺印する。

平成18年 7月16日

議 長 会 長 山 崎 達 光

議事録署名人 理 事 前 田 多 満 枝

議事録署名人 理 事 野 口 隆 司